



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0739

掲示板法話

仏の呼び声を聞き

蓮の花のように尊い人生が開かれる

十月になると、「灯火親しむ秋」読書の秋という気分になったのですが、相変わらず「暑い、暑い！」という日々です。地球沸騰化の時代などと警告されている今、季節感が鈍くなり、情性で過しているような気分が否めません。

だが、今年も残り三カ月、あつという間に一年が終わる。我々のいのちも同じで、人生百年時代というが、私の周りで百寿の人をまだ知りません。時間的な長さよりも命の質が問われます。

最近、親がある程度の高年齢になると、息子や娘さんたちが、断捨離(身の回りの整理)を勧め、「エンディングノート」を書くよう老親に促すのだそうです。どんなことを書くのでしょうか?法名や遺影の写真を収めた場所を記し、訃報連絡をする名簿を準備する。中には葬儀の場所や希望を記し、出棺の際のBGM(音楽)までも自ら録音し、お仏壇に保管されていた人がいます。

「千の風になって」を坊守のマンダリン演奏をバックに歌い、子や孫への感謝の言葉をカセットテープに吹き込んで



で出棺の時にそれを流すよう遺言されてあったのです。出棺の際にその歌声や言葉を聞いた遺族や住職の私も胸にジーンと感動を与えられました。七くなる17年も前にそれが準備されていたというから、この人(行年83歳、女性)は「後生の一大事」の自覚ができていたのだなあ、と感動を覚ええました。また、第九合唱団に入っていた男性(行年・85歳)は、「威風堂々」の曲を出棺の際に、流すよう家族に伝えられ、最近それを私も出棺の時に聞かせて頂きました。この人は「自身の行く末を自覚しつつ、「威風堂々」とお浄土に参らせて頂くのだ、と願っておられたのでしようね。

いずれにしろ、この世の命終えて空しく終わるのちではない。「あなたを必ずお浄土に生まれさせ、仏さまの仲間になるのだよ」という如来さまのご本願に遇うことのできた安心、安らぎがあります。それは、臨終を待たず、平生の仏法聴聞を通じて頂いた「信心の姿」です。親鸞聖人は「必ずお浄土に生まれる

身と定まりたる人」を「如来と等しい」とまで讃えられ、蓮の花のように尊い人なんだよ、と言われます。蓮の花は泥田の泥を吸うような苦悩の人生でも泥を肥やしとして咲く花。悪を転じて念仏の善となし、「この世の苦勞も無駄でなかった、仏さまにさせて頂く有難いご縁であった」と受け止められる境地が拓かれているのです。単なるエンディング(最期)でなく、人間に生まれた真実の意味が自覚される人生でありたいですね。



「住職と坊守のつれづれ日記」(ブログ)をQRコード対応携帯より簡単アクセスできます。

★ 写真アラカルト ★



「善正寺ホームページ、トッポ画面。更新情報、過去20回分(写真・文)見られます。



☆行事ご案内☆

10月の門信徒会例会

10月15日(日)午前8時半

報恩講の準備に向けて打ち合わせ
お非時(持ち帰り弁当)予約伺い(複数申し込み可)



◇三重組十三日講 10月13日(金)午前
坂部 覚照寺様(講師:守快信師、滋賀)



◇釈徹宗先生のオンライン講演
「現代社会と宗教」

9月26日(火)午後2時 別院より配信、善正寺本堂
大型画面で一緒に聞きましょう!無料 誰でも可
◇夕方5時の鐘撞年中無休、親子大歓迎、ご褒美有

報恩講予定 11月2日午後1時半 昼前弁当配布要予約

3日午前10時、午後1時 主催三全仏教婦人会

講師:梶原佑伸先生(函館)北海道布教同志会会長
元函館商工会議所会頭から布教使の道へ異例の経歴

善正寺ホームページ30年間毎月発行の寺報閲覧、15年間毎日更新のブログ住職と坊守のつれづれ日記大好評
41万8千訪問、お悩みメール相談可、即返信します

一線会テレホン法話 ☎059-354-1454
三重組5か寺が週替わりで3分法話、40年の実績

新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談を
法事場所でお困りの方本堂使用可、寺にご相談下さい

三重組連研オンライン会場 9月27日夜善正寺本堂使用

坊守スケッチ

電波時計と仏様のお慈悲



庫裏食堂に掛けてある電波時計は、息子の結婚祝いに頂戴したもので、18種類の音楽が正時に流れ、周囲の人形が動き出す豪華な時計。先日音楽が途中で終わるので、電池交換をした。

普通の時計ならば、電池を交換して針を合わせればすぐに動き出すが、電波時計はそうは簡単には動かない。グルグル針が回ったかと思うと、おかしな時刻で止まり、中央の赤と緑のボタンが点滅して、全く正確な時刻を拾わない。しばらく経っても同じだったので、メーカーのお客様相談室へ電話した。

「窓際へ時計を移動させるか、深夜まで待てば、正確な時刻を拾います」と言うので翌朝まで待った。確か数年前も電池交換をした時に、同じ状態を示したので、時計屋さんを持ち込んで強制的に時刻を合わせてもらった。

あの頃は今のよう、誰もがスマホを持っていないかったが、現在は国民の大半がスマホを持ち歩き、パソコンやタブレットで仕事をする。だから私達の見えない所で沢山の電波が飛び交う。

我が家も庫裏2階に電波を拾うルーターを設置して住職と私のパソコンで同時作業ができる。それ以外にも本堂に別回線のルーターを設置して、連研等のオンライン研修会に使う。

このように一か所で同時にインタ

ーネットを使用すれば、見えない電波が飛び交い、昼間は正しい時刻の電波を受信できない訳が分かった。

このことから、仏様のお慈悲も電波時計の電波とよく似ていると感じた。便利で豊かな時代、何でもお力になってあげれば、幸せと感じる現代人の何と多いことだろうか？

果たしてこのまま年老いて人生を終わっていいのだろうか？人間として本当に大事なものは、電波のように目に見えないものではないだろうか？

仏様のお慈悲は、目に見えないけれども、私の心が気付かせて頂き受け取るもの！仏様のお慈悲の電波が受け取れるように、日々の仏参に励みたい。

カンパありがとう

赤井淑子様、海野公子様、T T様、I S様、T S様ら切手・志を頂戴、感謝

お知らせ 9月26日午後午後2時・釈迦宗講演を別院のオンラインで、本堂の大型画面で一緒に聞きましょう。無料、歓迎！

公開講座 9月26日(火) 現代社会と宗教

若坊守の子育て日記No.105

今年の夏休みもあつという間に終わり、また元気に学校に通う子ども達の姿に安堵します。

一年前にも書いたのですが、夏休み中に通った室内プールで今年もまた長女の泳ぎが上達して、プールの底まで長く潜れるようになりました。

一方、長男は潜るよりもクロールや平泳ぎが得意で、各々に得意分野があるのだと感じました。

また野球観戦が大好きな長男は、夏休みはとも忙しい時期です。朝食後、さつさと勉強を終わらせると、メジャーリーグの試合放送をチェック。

専ら大谷選手の活躍ぶりをリアルタイムで見っていました。やがて高校野球が始まると、気になる出場校を応援しました。『白球の記憶』という過去の甲子園の映像番組も楽しみでした。

もちろんプロ野球も大好きです。長男はオリックスファン。オリックスの中継は少ないのですが必ず観て、結果をアプリで確認。先日は初めてラジオ中継を聞き、「なかなかいいね」と喜んでいました。長女はハンサムな佐々木朗希選手の大ファンで、選手名鑑を読んでいます。このように我が家の子供達は、野球で話題沸騰の夏休みでした。



俳壇

応援や百七年越え光る夏 釋妙水

赤点灯救急車の行く稲穂みち 釋榮邦

散歩道線状降水落し文 釋安

高山の風鈴まつり長い列 釋住安

鶏頭や畑いっばい咲き誇り 釋普教

炎屋の禱りの眼暗くして 釋普教

降りそめし八尾の雨の花美容 釋普教

飛ばされし帽子の先に吾亦紅 T S

野火囲み今年の出来を語り合う

こちらまでどうぞお来しと曼殊沙華

秋の旅こを曲れば北御堂 釋秀龍

秋風やペンキの缶の揺れる音

残暑の夜ベッドの横の解熱剤

蜘蛛の囿も潜りて進む二人連れ 釋清風

虫の音の密かに聞こゆ夜道かな

掌を合わす子らに鳴る鐘大夕焼

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」358号をお届けします。◇残暑と大雨が繰り返される初秋、人手不足と物価高の秋、娑婆の日暮らしはまさに「堪忍土」だな、と感じます。◇一方、「収穫の秋」でもあり、新米、果物、きのこなど自然の恵み、農夫のご苦労に感謝せずにいられません。◇「念仏の道はおかげさまと生かされ、有難うと生き抜く道」(勝如上人)。苦勞も無駄ではなかった、と味の出る人生を送りたい。唯念仏。

コロナが収束したのも束の間、猛暑日と台風による大洪水、外国では山火事が迫り、天変地異の脅威が私達に襲い掛かります。ウクライナとロシアの戦争は終息の気配なく、北朝鮮や中国の動きも不穏です。先日徹子の部屋に俳優の大和田獏さんが出演し、妻の岡江久美子さんのお別れの場面を語られました。コロナで亡くなった岡江さんは、白い布袋に入れられ家族とも面会できず遺骨だけが自宅に戻りました。通夜や葬儀もなく家族は遺骨と対面して後悔と淋しさがこみ上げやり切れませんでした。「人間はやはり人生の節目にはケジメの式をきちんとして勤め、それは残された家族にとっても必要だ」と思ったそうです。近年冠婚葬祭が簡素化され、業者任せになり家族や地域や親戚の縁が希薄になりました。「人生のケジメの儀式は、自分を支えて下さる多くの人々の目におかけさまを感ずる儀式でもあり、それらの絆を再確認する機会でもあります。昨今の凶悪事件の原因は、社会から孤立した犯人が自暴自棄になった末の犯行だと推測されます。お寺は悩みを抱えた人の相談場所です。仏様は決してあなたを見捨てない。一人にさせないと、常に救いの手を差し延べておられます。お慈悲の光は誰の上にも平等に注がれています。お寺で仏様の教えを聞かせて頂きます。9月23日(土)24日(日)午後「永代経」。26日(火)午後釋徹宗先生のオンライン講演会です。お誘い合わせて。ご参詣下さいませ。合掌」

令和五年十月

善正寺 坊守 拝